



(北与野駅方向からのイメージ)

新病院への アクセス



お問い合わせ

埼玉県立小児医療センター

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-13-3
埼玉県病院局小児医療センター建設課 TEL 048(830)5989

さいたま赤十字病院

〒338-8553 埼玉県さいたま市中央区上落合8-3-33
さいたま赤十字病院事務部企画課 TEL 048(852)1593



埼玉県立 小児医療センター

さいたま赤十字病院



(さいたま新都心駅方向からのイメージ)

こどもたちの未来は私たちの未来 ～For the future, for the children～

埼玉県立 小児医療センター新病院

概要

① 埼玉県立小児医療センターの移転経緯

昭和58年4月開院以来30年余りが経過し、建物の耐震化を図るとともにこの間の医療の進歩や患者の動向などを踏まえ、新病院を建設することにしました。

- 平成24年3月 埼玉県立小児医療センター施設整備基本計画
- 平成24年7月～平成26年3月 基本設計・実施設計【株】久米設計】
- 平成26年2月～平成28年3月 建設工事【清水建設株】

② 埼玉県立小児医療センター新病院の建物概要

建設場所	さいたま市中央区新都心1-2	最高高さ	64.28m
敷地面積	10,031.17m ²	構造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造
建築面積	8,189.16m ²		リート造(免震構造)
延床面積	67,885.39m ² (付加機能を含む)	駐車台数	337台
階数	地下2階／地上13階	病床数	316床

③ 埼玉県立小児医療センター新病院の特徴

①高度専門医療の提供

- 総合周産期母子医療センター機能の整備
 - 新生児集中治療室(NICU)の増床(15床→30床)
 - 新生児治療回復室(GCU)の増床(27床→48床)
- 小児救命救急機能の向上
 - 小児集中治療室(PICU)の新設(14床)



②快適な療養環境づくり

- ゆとりある個室病床の整備(80床)
- 病院内に家族滞在施設(ドナルド・マクドナルド・ハウス誘致予定)を7部屋設置
- 広い乗降スペースを確保した機械式駐車場の設置



③最新医療への対応

- 内視鏡手術室の増設
- ハイブリッド手術室の新設
- 小児がん拠点病院に対応した無菌室の増床等



④付加機能との一体的な連携

- 発達障害支援総合推進センター(仮称)(3階)^{※1}
- 災害時被災者支援機能(3階)^{※2}
- 特別支援学校(7階)
- 総合医局機構^{※3}、県立大学サテライトキャンパス、救急救命士養成所(8階)

※1 埼玉県立小児医療センター新病院の発達外来部門と連携して、市町村、医療・療育専門職員への研修や親支援などを実施する発達障害児支援の拠点施設

※2 周辺地域での大規模災害発生時に被災者支援のため、情報収集・関係機関との連絡調整を行う

※3 医師の確保や医師不足病院への派遣、キャリア形成の支援などを総合的に行う



緑化やエコ対策にも配慮したまちづくりとの調和



埼玉県立小児医療センター新病院

さいたま赤十字病院新病院

信頼される医療をすべての人に ～Reliable medical care for everyone～

さいたま赤十字病院新病院

概要

① さいたま赤十字病院の移転経緯

さいたま赤十字病院は、施設の老朽化と狭隘化を解消し、高度医療の進歩と多様化する医療ニーズに的確に対応するため、新病院を建設することにしました。

- 平成23年8月 さいたま赤十字病院新病院基本計画
- 平成23年12月～平成25年11月 基本設計・実施設計【株】日建設計】
- 平成26年2月～平成28年3月 建設工事【大成・田中特定建設工事共同事業体】

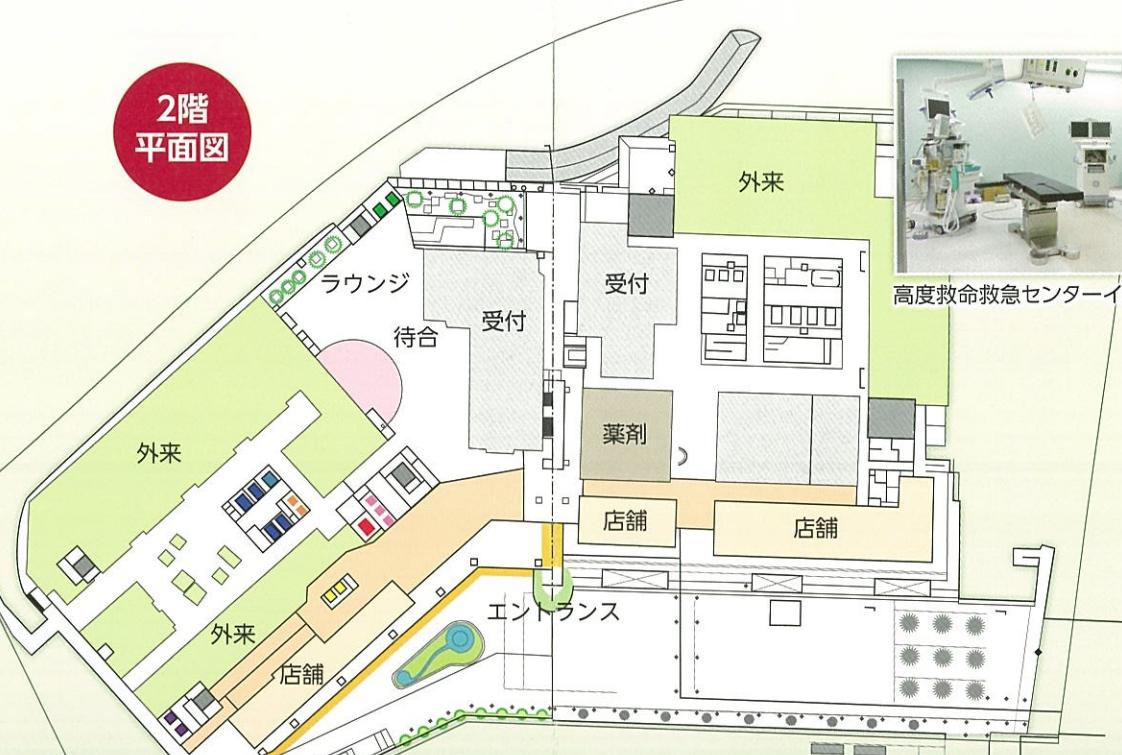
② さいたま赤十字病院新病院の建物概要

建設場所	さいたま市中央区新都心1-5ほか	最高高さ	78.48m
敷地面積	14,001.33m ²	構造	鉄骨造(免震構造)、一部鉄筋コンクリート造
建築面積	8,877.53m ²	駐車台数	311台
延床面積	67,452.43m ²	病床数	632床
階数	地下2階／地上14階		

③ さいたま赤十字病院新病院の特徴

①高度専門医療の提供

- 総合周産期母子医療センター機能の整備
- 母体・胎児集中治療室(MFICU)の新設(9床)
- 高度救命救急体制の充実
 - 救命救急ICU(EICU)と救急病棟の増床(EICU6床→8床、救急病棟32床→36床)
 - ハイケアユニット(HCU)と脳卒中ケアユニット(SCU)の新設(HCU8床、SCU6床)



機械式駐車場イメージ



緑化バルコニーに面する新型4床病室イメージ

④快適な療養環境づくり(ゆとりと拡張性の高い療養環境)

- 個室が多い病床構成(126床→302床)
- ベッドサイド医療のためのゆとりある新型4床室
- 全てのベッドサイドに窓を設置し、採光や緑の眺望を確保